

長野県坂城町議会

さかき

2022

No. 166

令和4年7月31日

議会だより

何がかかったかなー

〈川の学校〉

(関連記事13ページ)



5月臨時会・6月定例会

- ・中島新一議員を悼む……………3ページ
- ・ここが聞きたい! 一般質問11名 ……6ページ

5月臨時会

5月20日の第1回臨時会では、町から提出された令和3年度一般会計補正予算等の専決処分事項の報告を承認し、南条産業団地の処分に係る土地売買契約の締結などの議案について原案のとおり可決した。

契約の承認

◆南条産業団地の取得に係る土地売買契約

南条産業団地2万8706・49㎡を、坂城町土地開発公社から7億8081万6528円で取得する。

◆南条産業団地の処分に係る土地売買契約

区画①を(株)アルプスツール(1万8019・13㎡、4億9012万336円)に売却し、区画②を(株)青木固研究所に(1万687・36㎡、2億9069万6192円)で売却する。



南条産業団地

専決処分を承認

一般会計補正予算

◆3年度一般会計補正予算(第12号)は、地方消費税交付金や特別交付税の確定、また町民税の最終見込み等により、1億4671万4千円を増額し、総額が81億229万8千円となった。

特別会計補正予算

◆3年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

は、保険給付費等の減額に伴い、5081万円を減額し、総額が14億2062万4千円となった。

◆3年度下水道事業特別会計補正予算(第5号)

は、流域下水道事業費等の減額に伴い、300万円を減額し、総額が8億3977万4千円となった。

◆3年度介護保険特別会計補正予算(第3号)は、

保険給付費等の減額に伴い、4184万5千円を減額し、総額が13億9564万8千円となった。

◆3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)は、保険料の確定によ

り、483万9千円を減額し、総額が2億3150万7千円となった。

条例改正

◆職員の育児休業等に関する条例の一部改正

これまで非常勤職員が育児休業又は部分休業を取得する要件として、「1年以上の在職期間」を規定していたがこれを廃止するとともに、当該職員が妊娠を申し出た場合に

制度内容の周知や面談の実施など、育児休業を取得しやすくするための環境整備等について規定する。

◆国民健康保険税条例の一部改正

固定資産税について、土地に係る固定資産税の負担調整措置の激変緩和の観点から、令和4年度に限り、商業地等に係る課税標準額の上昇幅を評価額の2・5%とする。

◆国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の医療給付費分である基礎課税額に係る課税限度額を65万円に、後期高齢者支援金等課税限度額を20万円に引き上げる。

◆条例等の一部改正

個人町民税について、

住宅借入金等特別税額控除において、所得税額から控除しきれなかった額を、所得税の課税総所得金額等の5%、最高9万7500円の控除限度額の範囲内で、個人住民税額から控除する。また、上

場株式等の配当所得等に係る課税方式について、所得税と一致するよう規定の整備を行う。

◆消防団員等公務災害補償条例の一部改正

損害賠償を受ける権利に係る担保制限の例外として、日本政策金融公庫又は沖縄振興開発金融公庫が行う貸付のみ担保提供を可能としていたが、この例外規定を削除する。



中島 新一 議員を悼む

去る5月21日、中島新一町議会議員が急逝されました。

中島議員は、1期3年にわたり豊かな見識と経験により、町発展のために尽力され、また、今後の活躍が期待されていただけに突然の訃報に接し、残念でなりません。

6月1日定例会に先立ち、議場において追悼式が行われました。

追悼のことば

坂城町議会議員 中島新一君は去る5月21日、51歳の若さでご逝去されました。誠に痛惜の念に堪えません。議員一同を代表して謹んで哀悼の言葉を述べさせていただきます。

亡くなられた前日の5月20日には、臨時議会、全員協議会が開催されました。中島新一君はいつも通り、元気な姿で議会に出席されていました。それがその翌日、思いもよらぬ突然の知らせに、ただただ驚き、俄かには信じることができませんでした。

中島議員の空席を目の当たりにしている今も、受け止め難い思いが拭えません。

顧みるに、あなたは昭和45年12月4日、中之条に生を受け、平成2年3月に長野調理師専門学校を卒業し調理師の道に進まれました。平成11年には、家業である「木の実」に就かれ、昨年秋に亡くなられたお母さまとともに、持ち前の包容力と誠実な人柄で、多くの皆さんに愛される食事や場所を提供されてきました。

また、坂城町商工会青年部長や千曲川坂城陣太鼓保存会などの活動を経て、平成31年、議会議員選挙において初当選の榮に輝かれ、以来3年余にわたり、卓越した見識と情熱を持ち、精力的に議員活動を行ってこられました。

改めて、中島新一君が初めて一般質問されたときの議事録を読み返しますと、「町民のための豊かなまちづくり、同世代の声も町政に届けながら、この町の産業のさらなる発展のため、そしてわかりやすい一般質問を心がけ、日々精進し、議員活動に専念してまいります」と述べておられます。中島議員の一般質問の際には多くの仲間の皆さんが傍聴にいられていました。これも議員の人となりを示すものだと思います。

在任中、総務産業常任委員会副委員長や坂城駅周辺活性化特別委員、広報発行対策特別委員、葛尾組合議会議員などを務め、一般質問では、毎回、自身で調査した町内事業所などの景気動向を基に、国や県の施策を踏まえた町民や事業所に対する町独自の支援策について質問するとともに、コロナ禍であっても、坂城町が元気に活気づくように花火大会の開催を提案するなど、常に坂城町の発展を願って活動されていました。

志半ばでの急逝は、ご家族、ご親戚、ご友人はもとより、坂城町議会にとっても、大きな損失ではありますが、今はただ、今までのご功績、ご労苦に対し、心より御礼を申し上げます。

親しいお仲間のおひとりがおっしゃっていました。「あいつらしい最期だった。休むことなく全力で駆け抜けたんだ」と。

いろいろな方々の万感の思いを込めて、合掌いたします。

終わりに、中島新一君の生前のご意志を無にすることのないよう、議員一同、坂城町の発展に力の限り努力をすることをお誓い申し上げ、追悼の言葉といたします。

令和4年6月1日

坂城町議会議長 小宮山定彦

坂城町内での消費喚起促進

今年は1人あたり3,000円分の「さかきのお店応援券」を全町民に配付

第2回定例会は6月1日から6月15日までの会期で開かれ、一般質問には11名が登壇した。契約の締結、一般会計補正予算などを審議し、すべて原案のとおり可決した。

契約の承認

◆坂城町体育館耐震補強及び大規模改修工事請負契約

耐震診断判定書に基づく耐震補強及び機能改善・省エネ化に向けた大規模改修を行う。契約金額は2億5278万円、請負者は中信建設(株)坂城営業所。

◆坂城町温泉施設改修工事請負契約

老朽化している機械設備の更新と施設内の消耗箇所の修繕、屋外展望デッキの新設、レストラの増築等を行う。契約金額は1億8040万円、請負者は高木・笠井特定建設工事共同企業体。

一般会計補正予算(第1号)

●神楽用整備補助金の内容は

●一般社団法人自治総合センターの助成事業を活用して行うもので、上

五明の神楽保存会や長持会で長年使用され老朽化している獅子頭の修繕や法被などの購入に対して補助する。

●荊屋原地区落石対策工事の内容は

●しなの鉄道から落石対策の協議があった荊屋原地区の「せりだした岩塊」に対して、当初、線路沿いに擁壁を設置する「待ち受け対策」を計画していた。

しかし、詳細調査により、周辺にも落石の恐れがある岩塊の点在が判明したことから、直接、岩塊に対して対策を行う「発生源対策」へと計画を変更する。

工事内容としては、せりだした岩塊をワイヤーロープにより抑え込む「ロープ掛工」、周辺にある岩塊が落石した際に飛び跳ねを防止する「覆式ロックネット工」、その他、仮設道路や樹木の伐採等の対策工事を計画しており、当初で見込んだ

予算の不足額を、今回、補正予算として計上した。工期は、8月から来年3月までの8か月間を予定している。

令和4年度一般会計補正予算(第1号)(主なもの)

◆補正額 2億3,987万円

●コロナ禍における原油価格・物価高騰等に対する町民及び事業所への支援

○さかきのお店応援券事業.....4,991万円

町内飲食店や小売店等の利用促進と消費喚起を図るため、登録された店舗等で利用可能な応援券3,000円分を全町民に配付する。

○中小企業等事業継続支援金事業.....5,000万円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上げが大きく減少した町内の中小企業者を支援する。(売上げの減少が30%以上50%未満の事業者に対して20万円(上限額)、売上げの減少が50%以上の事業所に対して40万円(上限額))

○低所得者の子育て世帯生活支援特別給付金事業.....750万円

○スタンプラリー消費回復応援事業.....450万円

○商工会が実施する「坂城井井」事業に対する補助金.....250万円

●その他

○介護保険地域密着型サービス等整備助成事業補助金.....4,115万円

令和5年4月の開所に向けて、上平地籍で施設整備が計画されている「認知症高齢者グループホーム」の建設費用を支援する。

○新型コロナ予防接種(4回目)事業に係る経費.....2,368万円

○荊屋原地区落石対策工事に要する増額費用.....1,904万円

○神楽用備品整備補助金.....240万円

人事

中島新一議員の死去に伴い、新たに、葛尾組合議会議員及び特別委員会委員を選任した。

・葛尾組合議会
・広報発行対策特別委員会
・議会改革等特別委員会
・坂城駅周辺活性化特別委員会
玉川 清史
大日向進也
山城 峻一
栗田 隆

第1回臨時会(5月)並びに 第2回定例会(6月)の審議結果

1 全会一致で可決された議案

【第1回臨時会(5月)】

(1) 専決処分

- ①職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ②税条例等の一部改正
- ③国民健康保険税条例の一部改正
- ④消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ⑤令和3年度補正予算
 - ・一般会計(第12号)
 - ・国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
 - ・下水道事業特別会計補正予算(第5号)
 - ・介護保険特別会計補正予算(第3号)
 - ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

(2) 契約

- ①南条産業団地の取得に係る土地売買契約の締結
- ②南条産業団地の処分に係る土地売買契約の締結(2件)
- ③令和4年度坂城インター先線関連下水道管路移設工事請負契約の締結

【第2回定例会(6月)】

(1) 契約

- ①令和4年度坂城町体育館耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結
- ②令和4年度坂城町温泉施設改修工事請負契約の締結

(2) 令和4年度補正予算

- ①一般会計(第1号)

2 賛否が分かれた議案……なし

3 全会一致で否決された議案……なし

議 会 日 誌

(主なもの)

4月

- 4日 町道A09号線開通式
- 5・11・15日 議会報編集委員会
- 15日 南条産業団地造成事業及び町道A09号線道路改良事業竣工式
- 20日 議会全員協議会
議会改革等特別委員会
- 21日 長野広域連合議会運営委員会
- 25日 長野広域連合議会臨時会
- 26日 町例月現金出納検査

5月

- 10日 上田地域広域連合議会代表者会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 総務産業常任委員会閉会中の調査
- 17日 (公財)さかきテクノセンター理事会
- 18日 社会文教常任委員会閉会中の調査
- 20日 議会運営委員会
議会臨時会
議会全員協議会
- 23日 坂城町土地開発公社理事会
- 24日 上田地域広域連合議会臨時会
- 25日 町例月現金出納検査
議会運営委員会
- 30日 全国議長会議長・副議長研修会

6月

- 1～15日 6月議会定例会
- 1・20・24・30日 議会報編集委員会
- 5日 ちくま環境エネルギーセンター・千曲市余熱利用施設竣工式
- 15日 議会運営委員会
- 16日 議会改革等特別委員会先進地視察
- 27日 町例月現金出納検査



バラと自在山

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

バイパス

今年度の取り組みは

中央要望を引き続き実施

問 昨年度の町としての取り組みは。
町長 1月には国土交通省と県選出の国会議員に対し要望活動を計画したが、コロナ感染拡大により要望先に郵送で要望書を提出した。一方、新国道上田・篠ノ井間建設促進期成同盟会では関係市とともに7月に国土交通省長野国道事務所、県建設部に



山城 峻一 議員

対し要望活動を行った。
問 工事及び用地買収の状況は。
建設課長 昨年度は網掛地区の工事用道路の整備、水路付替え、道路本体の盛土工事が行われ、小網地区では道路建設予定地の支障木の伐採・伐根・整地工事や木柵の設置工事が進められた。上五明地区は埋蔵文化財の調査、住宅の補償等が行われた。現在の工事の進捗状況は29%、用地買収の進捗率は82%である。
問 今年度の整備計画と取り組みは。
町長 町区間の事業費は



18号バイパス工事（上五明）

約8億円が配分され、工事区間内の調査設計、埋蔵文化財調査、用地買収及び改良工事を実施予定。
建設課長 予算確保に向けて事業の進捗を図るべく、国、県などの関係機関への中央要望を今後も引き続き実施し、1日も早い供用開始に向けて整備促進に努めたい。

質問項目

山城 峻一 議員 6ページ

- ① 国道18号バイパス建設について

大森 茂彦 議員 7ページ

- ① どの子ども健やかに育つために
- ② 誰もが安心して暮らせる町に
- ③ 町の産業振興は

西沢 悦子 議員 7ページ

- ① 人口問題について
- ② 水道事業の広域化について

栗田 隆 議員 8ページ

- ① 農業振興について
- ② 教育について

滝沢 幸映 議員 8ページ

- ① 町の情報発信について
- ② 健康長寿社会に向けて

吉川 まゆみ 議員 9ページ

- ① 健康寿命の延伸について
- ② 物価高騰から町民生活を守るために

柵津 明子 議員 9ページ

- ① 住民の生活を守るために
- ② 少子化の現状と今後について
- ③ 学校のコロナ対策について

玉川 清史 議員 10ページ

- ① 安心安全な町づくりを
- ② 行き届いた教育のために
- ③ 高齢者が住みやすい町に

大日向 進也 議員 10ページ

- ① コロナワクチン接種と感染状況について
- ② 学校における端末機器を用いた学習について

塩野 入 猛 議員 11ページ

- ① 農業振興について
- ② 廃棄物処理について

中嶋 登 議員 11ページ

- ① 地球温暖化について
- ② 旧久保家住宅について

地域福祉

地域福祉計画の策定を

各計画は横断的に実施



大森 茂彦 議員

問 社会福祉法では「地域福祉計画」を策定するこ

とが努力義務になった。だが、町には策定の気配が全くない。高齢者福祉や障害福祉、子ども・子育て支援などの計画が策定されているが、安心して暮らし続けるためには縦割りではなく、行政、福祉関係者や住民が一体となって取り



今年度が期限の県地域福祉支援計画

組んでいく包括的な取り組みが必要だ。努力義務といえども、策定すべきである。また、県の地域福祉支援計画との整合性は。

福祉健康課長 施策の実

施は計画の枠にとらわれず、必要に応じ横断的な対応を行っている。県の地域支援計画の目標は、4年度で77市町村であるが、策定済は40市町村である。町の今の取組は県の計画と整合性が図られていると考えている。

問 地域福祉計画は上位法としての位置づけだ。趣旨は住民全体が地域福祉に参加し支えていくことではないのか。

福祉健康課長 各計画は住民代表や専門家の意見を聞いて策定している。

問 計画策定過程はそうだが、大事なことは住民が福祉活動に参加してもらうことだ。町長の見解は。

福祉健康課長 県と相談しながら検討していく。

財政シミュレーションは

669億円の効果

水道広域化



西沢 悦子 議員

町長 広域化研究会では、最適な事業運営の視点から「事業統合」「経営の一体化」「用水供給事業の新設」「個別経営による施設の共同化」を抽出し、さらに、送水幹線の二重化、災害時に供給できる連絡管の新設など当町の懸案事項も含め検討の結果、水道料金の抑制

効果として、50年間で669億円の効果があるとされた。

問 水源を持ち事業を運営している他の3市とは広域化についての受け止め方が違う。財政シミュレーションの公表とこの事業について住民合意を得るためには。

建設課長 現在の状況とシミュレーションの結果について、行政協力員会で説明をしていきたい。また、県企業局、3市とも連携する中で住民説明の方法を検討する。



50年後も

農業振興

自給率低下は危機的だが

生産振興で向上に努める



栗田 隆 議員

問 食料自給率の問題は国の存亡にかかわる問題である。主要穀物（米、小

麦、大豆、トウモロコシ）はとくに重要で、G7（先進7か国）の中でこの自給率が100%を切っているのはイギリスと日本だけである。しかし、イギリスが94%であるのに対して日本は28%と危機的状況にある。この点について町の見解は。

商工農林課長 政府は「農業基本計画」において令和12年度までに食料全般の自給率を45%まで高める目標を掲げている。町においても農畜産振興を通じて向上に努めている。

問 小麦などの穀物への需要が高まると予想されるが、二毛作などの対策はどうなっているか。

商工農林課長 国は麦・大豆・そば等への交付金、農業経営のための交付金などを用意しているが、町でも単独で転作助成金による支援をしている。

問 「産直店あいさい」は農業振興の観点から町の重要拠点と考えるが、拡充を含めた町の支援態勢は。

商工農林課長 生産者の生産意欲の向上と消費者のニーズの把握をするともに、地域農産物の情報発信をするための農業における拠点施設の一つとして、更なる発展・強化を目指していく。



麦と米

QRコードで動画配信を

状況に応じて対応

広報さかき



滝沢 幸映 議員

問 町からの情報発信では、防災行政無線・広報さかき・ホームページ・すぐメールは、日々の生活で大変重要である。それぞれの現状と、町公式YouTubeチャンネル開設の目的は。また、広報さかきにQRコードを

活用した動画配信の考えは。

町長 当町では「つながるあんしん坂城町」をキーワードとして導入した同報系防災行政無線が整備後5年を迎え、平時の定時放送に加えてすぐメール・ツイッター・防災WEBでの同時配信により多層的な情報発信を行い、特に災害時において最大の効果を発揮する。広報さかきでは、発行する月ごとにタイムリーな情報を、またホームページではごみの出し方から町の各種計画まで

膨大な情報を掲載し、随時の更新が可能という即時性を活かしている。

企画政策課長 町公式YouTubeチャンネルは、新型コロナウイルス感染拡大の影響でばら祭りが中止となったことから、昨年バラ公園の動画を楽しんでもいただくために掲載した事が開設のきっかけである。

広報紙のQRコード活用は、情報をお知らせする形態として動画が最適であり、有効な場合、状況に応じた対応を検討する。



町公式 YouTube チャンネル
新たに配信された「信州さかき春夏秋冬」



吉川 まゆみ 議員

健康診査

生活保護受給者も受診を

受診に向けて検討する

問 特定健診・一般健診の対象者は。

保健センター所長 町が実施している健康診査のなかで、特定健診の対象者は、国民健康保険に加入している40歳から74歳の方である。また、一般健診は19歳から39歳の方と

75歳以上の方が対象である。

問 生活保護受給者の方から、特定健診が受けられないと聞いたが、この方々の健康管理と健診受診への町の考えは。

保健センター所長 今後受診に向けて近隣の市町村の状況等も踏まえて前向きに検討する。

問 特定健診には、文化センターを会場として実施する集団健診と千曲医師会管内の医療機関で受診できる個別健診があ



広報さかき 4月号で健診のお知らせ

る。しかし、一般健診については、現在集団健診のみである。そこで、なかには大勢の中が苦手で受診を控えてしまう方もいると考えるが、個別健診も実施できないか。

保健センター所長 受診される方の利便性も考慮する中で検討していく必要がある。個別健診については、同じ医師会の管内である千曲市の状況を踏まえる中で協議し、検討する。

少子化

出生数減への対策は

各種施策を実施



祢津 明子 議員

問 過去5年間の出生数の推移は。

町長 平成29年74人、30年82人、令和元年66人、2年66人、3年70人であり、総じて減少傾向である。

問 少子化による影響は。

町長 高齢化の進展とともに、少子化による人口減少が進むことにより、生産年齢人口が減少し、社会経済活動の停滞が懸念される。これにより、地方における財政も縮小し、充実した行政サービスが維持できなくなることも懸念されている。

問 出生数の減少をどう受け止めているか。

町長 当町ばかりではなく、全国的な課題である。その中で、町独自の各種施策を講じ、「坂城町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づ

き、少子化対策や移住定住促進施策により、町の人口減少に一定の歯止めをかけた。

問 少子化が進む中、各保育園・小学校・中学校は維持できるのか。

町長 少人数学級ならではの利点を踏まえるとともに、有事の際の避難場所や社会体育に利用できる地域の拠点といった位置づけも含め、現在の体制を維持していきたい。



少人数学級

30人以下実施の考えは

国、県に削減を要請する



玉川 清史 議員

減し、行き届いた教育実現のために、町独自で30人以下学級を実施する考えは。

教育長 小学校に1クラス、中学校に3クラスあり、31人と32人が各2クラスとなっている。教員の追加配置は、県の「信州少人数教育推進事業」により、クラスの平均児童数が35人超の学年は増

問 今年度小中学校の31人以上の学級数とその人数は。また、教員負担を軽減

町独自の定数削減ではなく、更埴教育関係七団体とともに、国や県に要望していく。

空き家利用で居場所作り

問 地域支援サポート活動の会場は、主に公民館等だが、もっと近い所に居場所が必要だ。空き家等を町が地域に提供できないか。

福祉健康課長 空き家の提供は難しいが、空き家を居場所とした活動に対する備品や講師派遣などの支援はできる。



近くで気軽に（御所沢）

タブレット

教育現場における活用は

対面授業と組み合わせで



大日向 進也 議員

れにより、普段の授業では発言できなかった児童の考えを知ることが出来るようになった。

また、意見を共有する4人1組のグループを作り、わからないことを聞き合ったり、互いに教え合い学び合える協働学習に取り組んでいる。

通常の対面授業と組み合わせながら、端末を効果的に活用している。

問 長期休暇時の課題や宿題等での学習ツールとして、端末をどのように活用するか。

教育文化課長 自由研究や日記等を含め端末活用がどこまで可能なのか検討し、出来ることから取り入れていく。

問 小中学校における端末の活用状況は。

教育文化課長 小学校低学年では、まず端末に慣れることを優先し、個人専用のパスワードを入力し画面を起動させることから始め、タッチペンを使用し手書き入力やタイピングの練習を行っている。

高学年になるとタイピング速度も上がり、様々なアプリも扱えるようになることから、端末を通して自分の意見や感想の入力を行い、発言の場を増やすことが出来た。そ



廃棄物

環境センターへの期待は

循環型社会の推進に寄与



塩野入 猛 議員

「ちくま環境エネルギーセンター」は、公設民営の事業手法で運営・維持管理を行う特別目的会社「ちくま環境サービス(株)」により、24時間、20年間の焼却・運営業務を行う。

循環型社会の推進に寄与する施設としての役割

問 葛尾組合焼却施設は42年の歴史に幕を閉じたが、解体時期と費用は。また、後利用に坂城・千曲の2市町で建設の新リサイクルセンター構想があるが状況を問う。

本稼働が始まった「ちくま環境エネルギーセンター」の運営状況と期待することは。

町長 解体時期は令和6年度、費用は概ね10億円を見込んでいる。
新リサイクルセンターは、長野広域連合計画に位置づけ、7、8年度の建設を計画している。



本稼働した「ちくま環境エネルギーセンター」

を期待する。

農業振興

問 町の「農業支援センター」と「農業再生協議会」は、いずれも町の農業行政を推進する組織であり一本化の考えは。

また、食の安全、有機農法の考えは。

商工農林課長 一本化は、他市町村の状況を確認して検討したい。有機農法は簡単ではないので、今後の技術発展と普及に期待する。



中嶋 登 議員

設置補助金の増額を

増額を含め検討する

太陽光発電

問 町では住宅に太陽光パネルを設置すると上限7万5千円の補助金が出る。中部電力で10年前は電気を買取り42円/kWhであったが、今では買取り値段が下がってしまい、17円/kWhになっている。他市町村でも上田市7万8千円、青木村10万

円、長和町15万円、小川村20万円、飯綱町25万円の補助金が出ている。坂城町も倍の15万円にすべきだ。

企画政策課長 太陽光発電設備補助金の増額を含め、最も効果的な方策を研究・検討していく。

旧久保家住宅について

問 令和3年2月に久保家より御寄附いただいた。江戸時代火災に遭い、松代の真田の殿様より「松代藩の御山の木を



旧久保家住宅

好きなかだけ切って家を建てる」と云われた話も伝わっている。歴史的な建物であり、県宝に申請すべきである。

町長 町文化財保護審議会も「貴重な文化財建造物であり保存活用が望ましい」と言っている。びんぐしの里公園など周辺施設を含めた一体的な利活用を、関係機関と協議していきたい。
県宝への文化財指定については、県等関係機関と協議を進められればと考えている。

「道の駅あおき」と「五島慶太未来創造館」

総務産業常任委員会



「道の駅あおき」にて

5月12日（木）、総務産業常任委員会は、青木村の「五島慶太未来創造館」と「道の駅あおき」を視察した。

五島慶太は、明治15年、青木村で生まれ、20歳まで過ごし、その後東急グループを築いた実業家であるとともに、教育者として次世代の育成にも力を注いだ人でもあった。「五島慶太未来創造館」は、彼の軌跡を振り返るとともに、小さな村から実業界に大きく羽ばたいた先人の想いを、これからの時代を生きる人々に繋げていくための施設で

あり、五島慶太の功績や建学精神などが詳細に理解できる展示や館長からの説明に、大変感銘を覚えた。

「道の駅あおき」は、村の農業・観光の振興、移住・交流の促進、情報発信の基地として中心的な施設である。農産物直売所では、地域で生産された農産物を中心に、タチアカネ蕎麦や地元で採れた松茸の特産品として販売しており、隣接して「食堂こまゆみ」や「ふるさと公園あおき」「多目的体験学習館」などが整備され、子どもから大人まで楽しめるエリアになっている。

施設では、年間を通して、青木村と（株）道の駅あおきが協働し、総力をあげて、様々なイベントや取り組みが行われており、成果が上がってきていることが感じられた。こうした活動を私たちも着眼していく必要がある。

（朝倉 国勝）

ごみ焼却処理施設

社会文教常任委員会



1回に1tのごみを投入

社会文教常任委員会は5月18日（水）に、長野広域連合が新たに建設をした千曲市屋代にある「ちくま環境エネルギーセンター」と当町にある「葛尾組合ごみ処理施設」の視察を行った。

ちくま環境エネルギーセンターは、当町と千曲市、長野市の南部（篠ノ井・松代）の可燃ごみの処理を行っている。

本施設での一日の焼却処理能力は、約100tとなり、現在日量で約80tコンスタントに焼却が行われている。当町からは一日の収集で約20tの

搬入がある。最大で700t保管可能なピットがあり、万一の災害発生時に出るごみにも対応が可能。

また、施設敷地内には焼却により発生する熱を利用した千曲市余熱利用施設「リ・スパ シンコーズポーツ」が併設され、入浴施設やトレーニングジムが整備されている。

地域の住民に利用してもらいたいとのことであった。

次に昨年10月、長きにわたる稼働を終えた葛尾組合ごみ処理施設を視察した。

今後の課題として一番に挙げられるのが施設の後利用である。組合職員からは現在千曲市にある「不燃ごみ処理施設」を移設する予定と説明があった。本年度より地元で説明・取り壊し・建設を行い、令和9年度稼働予定とのことである。

循環型社会に向けて環境に配慮した施設建設を期待する。

（大日向 進也）

政務活動費収支報告

政務活動費は、町政に関する調査研究等に資するために必要な経費の一部として、地方自治法の規定に基づき条例の定めるところにより交付されるものです。(月額5千円、年額6万円)

政務活動費の交付を受けた議員は収支報告書を作成し領収書を添付のうえ、年度終了後、議長に提出しなければなりません。年間の交付額を上回った分は、議員の個人負担となり、残金が生じた場合は町に返還します。

令和3年度の政務活動費の収支報告は、以下のとおりです。

1 交付額 840,000円(60,000円×14名)

2 支出

項 目	支出額(円)	備 考
調 査 研 究 費	15,920	調査研究・視察
研 修 費	264,980	研修会参加等
広 報・広 聴 費	297,870	議員活動の広報
会 議 費	3,300	会場使用料等
資 料 購 入 費	622,120	参考図書等
合 計	1,204,190	

支出額合計は議員から報告のあった支出総額です。

そのうち、政務活動費交付対象額は799,524円です。

3 残 余(返還額) 40,476円

～ 川の学校 ～

表紙とこのページの写真は、6月25日(土)から26日(日)の2日間にわたり行われた、さかきふれあい大学「川の学校」の様子です。つけば小屋「魚とし」の後藤敏一さん、後藤正一さんを講師に、千曲川に生息している魚を間近で見学講座で、今回は小学生や保護者など25名が参加しました。

まず1日目は、手作りの仕掛けを川に仕掛け、2日目は、朝5時に集合し、川へ沈めた仕掛けを船に乗り確認しました。表紙の写真は魚がかかっているか確認している様子です。仕掛けを引き上げるとナマズやウナギなどが捕れ、子どもたちは大喜び。みんなで串刺しにしたウグイの塩焼きを食べました。

千曲川の自然に囲まれる中、子どもたちの笑顔あふれる2日間でした。

(文：柊津 明子)



仕掛けづくり



ウグイを串刺し



みんなで朝ごはん

まちを支える

～ごみの減量化・資源化を目指して～

坂城町ごみ減量化推進員会

坂城町ごみ減量化推進員会は、平成22年度に発足し、廃棄物の減量化・資源化を進めるため、町長から委嘱されており、現在13名で活動しています。

具体的な活動としては、生ごみの減量化・資源化を進めるため、各地区に出向いてダンボールコンポスト

を使った生ごみの堆肥化の実演、小学生の社会科見学での環境学習、町文化祭でのごみの減量化・資源化の啓発活動、視察研修、スーパーやコンビニの店頭でのマイバック持参率調査などの活動を行っています。

こうした活動が認められ、昨年9月、長野県知事表彰の「令和3年度循環型社会形成推進功労者表彰」を

受賞しました。

しかしながら、当会の認知度は低く、依然として坂城町の一人当たりのごみの排出量が多い状況です。皆さまのご協力を得ながら、ごみ減量化・資源化のため、引き続き活動を継続してまいります。

一人一日、10グラム(プチト



小学生の環境学習

マト1個分)のごみを減らせば、坂城町全体で年間約50トンのごみの減量となります。日々の生活の中で、ごみの減量化・資源化に繋がることではないか、今一度考えていただけたらと思います。



ダンボールコンポスト
の作り方・使い方

(会長 大池 令子)

つれづれに

▼「突然」とは、約束も計画も無視する。人は明日も来年も生きていることを前提に社会生活を営んでいる。

編集委員であった中島新一議員が、突然亡くなった。彼にも約束や計画があったに違いない。日々一日一日が大切な「時」と、私に思い起こさせてくれた。

▼今年の夏は思いやられる。日本の各都市で6月としては過去最高気温を記録。群馬県伊勢崎市では40.2℃。

▼梅雨のない北海道でも近い将来、梅雨はじまるといふ。イタリアの山では氷河が崩落。ロシアはウクライナで数多くの人の命を奪うだけでなく、地球環境をも悪化させている。

▼地球温暖化対策は喫緊の課題である。世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して、2℃より低く抑え、2050年までに1.5℃にしなければならぬ。日本政府の対策は何と悠長なことか。(大森 茂彦)

発行責任者 議長
議会報編集委員会

委員長 大森 茂彦
副委員長 山城 峻一
委員 吉川まゆみ
大日向進也

大森 茂彦
山城 峻一
吉川まゆみ
大日向進也